

畜産現場での効果的な消毒



農場内部の消毒体制の強化

乳用牛や肉用牛の農場の8割以上で用いられている逆性石鹼による消毒の課題

- ① 低温下で効果が落ちる。
- ② 有機物存在下（汚れのついたところ）で効果が落ちる。
- ③ 効果が出る病原体が限られる。

逆性石鹼の効果を補助するために“マイクロMIX法”を！

“マイクロMIX法”とは、本消毒法の普及に向け新たに作った名称です。

逆性石鹼に、消石灰より粒が細かく、平均粒子径 10 μ m の水酸化カルシウム粉末（以下「マイクロ水酸化カルシウム」という。）を濃度 0.17% 以上となるように混ぜた消毒液による消毒法（現場では、0.2% で用いると良いです）。

普段逆性石鹼で消毒するときと同じ感覚で消毒に使えます。

混合液の作り方：資材	夏場 1000 倍希釈	秋から春 500 倍希釈
逆性石鹼	200ml	400ml
マイクロ水酸化カルシウム (0.2%で作製の場合)	400g	400g
水	200リットル	200リットル

(参考) 500ml の計量カップに、マイクロ水酸化カルシウムを 360ml くらいの線まで入れると 200g となります。水 100 リットルに対して 200g 必要です。作り置きが可能です。1 週間程度で使い切ってください。

より具体的な使い方は以下をチェック

1

衛生管理区域内に入る車両消毒（飼料搬入、薬品搬入、牛の搬入・搬出、機材の搬入・搬出）。車両のフロアマット、車内、車両荷台。

車両消毒でも相乗効果が期待できます





張り付いた汚れ（病原体）には動力噴霧器の利用が効果的です



2 牛舎、踏込消毒槽など



中で使用した長靴はできるだけ長く漬け置きすることをおすすめします



オールアウト後の牛舎（カーフハッチ）の消毒

マイクロMIX法の効果は東京農工大学及び北里大学における研究成果に基づいて示しております。

詳細については、公益社団法人中央畜産会のホームページにある「畜産分野の消毒ハンドブック」や「畜産農場バイオセキュリティ強化マニュアル」をご参照ください。PDFをダウンロードできます。

不明な点や改善点等の情報は、公益社団法人畜産技術協会にお問い合わせください。



畜産技術協会ホームページで動画等も公開しています。



The National Association of Racing
地方競馬全国協会
畜産振興事業